

■ 壬生町のバランスシート(平成 18 年度) 平成 19 年 3 月 31 日現在

借方

(単位:円)

[資産の部]

1.有形固定資産 (全体) (1人当たり)

(1) 総務費	6億 9,321万	17,485
(2) 民生費	9億 1,543万	23,091
(3) 衛生費	39億 4,606万	99,535
(4) 労働費	3,086万	778
(5) 農林水産業費	6億 6,313万	16,727
(6) 商工費	13億 8,980万	35,056
(7) 土木費	197億 2,833万	497,625
(8) 消防費	1億 7,855万	4,504
(9) 教育費	130億 4,196万	328,969
(10) その他	2,264万	571

有形固定資産合計 406億 997万 1,024,341

(うち土地) 138億 61万 348,105

2. 投資等 (全体) (1人当たり)

(1) 投資及び出資金	5億 480万	12,733
(2) 貸付金	9,147万	2,307
(3) 基金	28億 4,645万	71,799
(4) 退職手当 組合積立金	5億 9,873万	15,102

貸方

(単位:円)

[負債の部]

1. 固定負債 (全体) (1人当たり)

(1) 地方債	63億 486万	159,033
(2) 債務負担行為	0万	0
(3) 退職給与引 当金	23億 3,321万	58,853

固定負債合計 86億 3,807万 217,886

2. 流動負債 (全体) (1人当たり)

(1) 翌年度償還 予定額	7億 5,164万	18,959
(2) 翌年度繰上 充用金	0万	0

流動負債合計 7億 5,164万 18,959

負債合計 93億 8,971万 236,845

[正味資産の部]

(全体) (1人当たり)

1.国庫支出金 41億 5,132万 104,712

投資等合計	40億4,145万	101,941
<b>3. 流動資産</b>	(全体)	(1人当たり)
(1) 現金・預金	21億6,218万	54,538
(2) 未収金	8億7,441万	22,056
流動資産合計	30億3,659万	76,594
<b>資産合計</b>	<u>476億8,801万</u>	<u>1,202,876</u>

<b>2. 都道府県 支出金</b>	9億2,448万	23,319
<b>3. 一般財源等</b>	332億2,250万	838,000
正味資産合計	382億9,830万	966,031
<b>負債・正味資産 合計</b>	<u>476億8,801万</u>	<u>1,202,876</u>

※債務負担行為に関する情報

①物件購入に係るもの	0円
②債務保証又は損失補償に係るもの	0円
③利子補給に係るもの	313万円

## ■ バランスシートからわかること

平成19年3月31日現在で、壬生町の総資産は合計で約477億円となりました。一方、負債は全体で約94億円、その差である正味資産は約383億円です。

### 1. [ 資産の部 ] の状況

資産の部では、有形固定資産(建物、土地等)が約407億円で資産全体の約85%を占め、残りが基金(積立金)、貸付金、未収金などで約71億円となっています。

有形固定資産を行政目的別に見ると、道路、公園などの土木費が約197億円(49%)と最も多く、次に小中学校や公民館、図書館などの建設事業費を含む教育費が約130億円(32%)、清掃センター建設や最終処分場建設などを含む衛生費が約39億円(10%)となっています。

### 2. [ 負債の部 ] の状況

負債の部では、町債(借入金)の償還が固定負債、流動負債を合わせて約71億円で負債全体の約75%退職給与引当金が約23億円で約25%の割合となっております。

### 3. [ 正味資産 ] の部の状況

正味資産の部では、町が保有している資産のうち、町民の皆様からの税金等により形成された一般財源等は約332億円で、正味資産全体の約87%にあたります。また、町有資産のうち国・県支出金により形成された金額は約51億円となっております。

---

## ■ バランスシートを活用した財務分析

### ● 社会資本形成の世代間負担比率

社会資本形成の結果を表す有形固定資産のうち、正味資産によって形成されている比率です。正味資産は、主に、今までの世代の負担によって形成された社会資本の額を指しています。他方、負債は将来の世代の負担によって形成された社会資本の額を指します。したがって、その依存割合が世代間負担の指標となります。

正味資産合計 / 有形固定資産合計 → 38,298 百万円 / 40,610 百万円 = 94.3%

(これまでの世代による社会資本形成の比率、高いほど良い)

負債合計 / 有形固定資産合計 → 9,390 百万円 / 40,610 百万円 = 23.1%

(後世代による社会資本形成の比率、低い程後世代の負担が少ない)

### ● 予算額対資本比率

歳入総額に対する資産の比率で、資産形成のために何年分の歳入が充当されたかを示すものです。

資産合計 / 歳入合計 → 47,688 百万円 / 10,453 百万円 = 4.56 年分

### ● 正味資本比率

企業会計で使用される自己資本比率に相当し、この比率は保有する総資産のうち返済義務を負わない部分がどの程度あるのかということを示す指標です。

正味資産合計 / 負債・正味資産合計 → 38,298 百万円 / 47,688 百万円 = 80.3%